

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：東川 直正

事業の概要

事業名	一般国道116号（新潟東西道路） 新潟西道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：新潟県新潟市西区明田 至：新潟県新潟市西区曾和	延長	4.2km		
事業概要	一般国道116号新潟西道路は、新潟東西道路の西端にあたり、現況平面2車線区間（延長4.2km）をアクセルコントロールされた4車線道路に整備する事業である。（新潟東西道路は、新潟都市圏を東西に横断する延長約40kmの地域高規格道路であり、これまでに約36kmが供用している。）				
事業の目的、必要性	当該事業の整備により、主要渋滞箇所が解消し、信頼性の高いネットワークを構築するとともに、当該地域の抜け道利用が解消し、国道116号及び沿線地域の安全性向上を図る。また、物流拠点間の速達性が向上し、地域産業の支援に寄与するものである。				
全体事業費	約300億円	計画交通量	約50,500台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
【新潟市長】
国道116号「新潟西道路」を予算化することについて同意。
地域の安心・安全、渋滞緩和や交通事故低減、道路ネットワークの確立及び強化、観光などを含めた地域の活性化に向けて、国道116号新潟西道路の早期完成が必要。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
費用対便益：便益が費用を上回っている。
手続きの完了：都市計画決定手続き完了（H23.11）

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.9	総費用 238億円 （事業費：211億円 維持管理費：28億円）	総便益 697億円 （走行時間短縮便益：552億円 走行経費減少便益：98億円 交通事故減少便益：47億円）	基準年 平成30年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.2 （交通量 -10%）	B/C=3.3 （交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=2.7 （事業費 +10%）	B/C=3.2 （事業費 -10%）	
	事業期間変動	B/C=2.8 （事業期間 +20%）	B/C=3.1 （事業期間 -20%）		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	・主要交差点立体化により、現道の渋滞が解消 【渋滞損失時間】 現況 33万人時間/年 → 整備後 8万人時間/年 【混雑度】 現況 最大1.71 → 整備後 0.65 【旅行速度】 現況 ピーク時 18km/h → 整備後 70km/h	
		事故対策	◎	・当該区間の渋滞解消により、当該地域の抜け道利用が解消し、国道116号及び沿線地域の安全性が向上 【死傷事故件数】 現況 29件/年 → 整備後 6件/年	
	社会全体への影響	歩行空間	◎	・当該区間の渋滞解消により、当該地域の抜け道利用が解消。国道116号及び沿線地域の安全性が向上	
		住民生活	—	・注目すべき影響は無い	
		地域経済	◎	・当該区間の渋滞解消により、物流の速達性が向上し、地域産業を支援 【当該区間（L=4.2km）の所要時間】 現況 8分 → 整備後 3分	
		災害	—	・注目すべき影響は無い	
環境	—	・注目すべき影響は無い			
地域社会	—	・注目すべき影響は無い			
事業実施環境	○	・都市計画決定済み（H23.11） ・新潟市長や国道116号新潟西道路整備促進期成同盟会等より、「新潟西道路の早期事業化」を要望			

採択の理由

費用便益比が2.9と便益が費用を上回っていると同時に、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、アクセスコントロールされた4車線化整備により、主要渋滞箇所解消による信頼性の高いネットワークの構築、交通事故減少による安全性向上、物流拠点間の速達性向上による地域産業の支援など、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。